

# ホテルとして日本初となる電気自動車による充放電システム「V2B」と、 ワークプレイスチャージングを導入した『マリブホテル』を リビエラ逗子マリーナにオープンし、環境と非常時に配慮しています





リビエラグループ(グループ本社:東京都港区代表取締役社長小林昭雄、以下リビエラ)は、日本のホテルでは初となる電気自動車(以下EV)による充放電システム「V2B( Vehicle to Building の略)」とワークプレイスチャージングを導入し、環境と非常時に配慮したホテル『MALIBU HOTEL(以下マリブホテル)』を、リビエラ逗子マリーナ(神奈川県逗子市小坪5丁目-23-16)に2020年3月26日グランドオープンしました。(公式ホームページ: <a href="https://www.riviera.co.jp/malibuhotel/">https://www.riviera.co.jp/malibuhotel/</a>)これは、SDGsに寄与する「リビエラ未来創りプロジェクト(2006年開始)」の一環で、2012年に開始した環境や生きがいに配慮

- これは、SDGsに寄与する「リビエラ未来創りプロジェクト(2006年開始)」の一環で、2012年に開始した環境や生きがいに配慮 した街づくり「エコロジータウン・リビエラ逗子マリーナ」による考え方で進めています。

## ■日本のホテル初、EVを活用した充放電システム(V2B)に関して/V2Bシステム導入による効果

マリブホテル駐車場に設置したEVに繋いで充放電を行う3基の『 PCS (Power Conditioning System 以下パワーコンディショニングシステム)』と、マリブホテルの屋上に約2.4kW出力の太陽光発電システムを設置。

# <常時:いつも>

充電器に接続したEVの充電調整を行う「ワークプレイスチャージング」に加え、ホテル全体の使用電力が過剰になってきた際には太陽光発電やEVからの電力も利用し「ピークカット」の管理を自動で行っていくことが可能となり、 CO²削減にも寄与します。

#### <u> <非常時:もしも></u>

災害や停電などの非常時には、ホテルのフロントおよび一部のコンセントへの「BCP(事業継続計画)対策の電源供給」を行うことができます。災害時や非常時、多くの人が困るのが今やライフラインと言っても過言ではないスマートフォンなどの携帯端末の電池切れや夜間の照明の喪失です。このシステムを利用し、携帯の充電や暖を取ることが可能となります。(例: リーフe+1台あたり、蓄電池として62kWhの大容量、携帯6200台の充電、扇風機(517時間)、電気ストーブ(62時間)、電気調理器具も使用可能となり赤ちゃんミルク(620本)

このようにEVを連動させた環境ソリューションの導入により、「常時:いつも」と「非常時:もしも」の組み合わせを可能にし、 リビエラでは環境にも非常時にも配慮する事業を展開してまいります。



マリブホテル V2Bシステムに関して



マリブホテル 『Power Conditioning System(PCS)』



マリブホテル 『Power Conditioning System (PCS) 。

#### ■ SDGsを推進するワークプレイスチャージングに関して

マリブホテルはEVを積極的に活用したエコロジーと非常時にも配慮したホテルを目指しており、リビエラの福利厚生のひとつとして従業員へのEV車購入時の補助金制度も社内で設けており、SDGs(持続可能な開発目標)を今後より一層推進してまいります。

## ■マリブホテルについて

全11室が50㎡以上のオールスイートの客室は、全室から海を望む富士山ビューです。ロサンゼルスのインテリアデザイナートップ20に選ばれる『ALEXANDER DESIGN(アレキサンダーデザイン)』のインテリア監修により、客室ごとに異なる眺望とスタイルの違う上質な空間では、「何もしない贅沢な時間」をお過ごしいただけます。愛犬と宿泊可能なドッグフレンドリールームや、お部屋に併設したガーデンテラスやバルコニーでもお召し上がりいただけるルームサービスでは、マリブファームのお料理の他、宿泊者のみ日本料理のメニューもお召し上がりいただけ、自由度の高いリゾートスティを叶えます。





ザマリブスイート 93㎡/バルコニー51㎡



プライベート ヴィラ 50㎡/ガーデンテラス41㎡ 愛犬とも宿泊可能な「ドッグフレンドリールーム」

# <マリブホテル 開業の背景>

リビエラ逗子マリーナに開業した『マリブホテル』は、リビエラグループにとって念願でございました。

2001年の事業継承当時から、海外の高級リゾート地を訪れた時のように、海を感じながら上質な時間を過ごすマリーナリゾートを目指し投資を行ってきました。まずはチャペル、そしてバンケットを5つ作り、3つのレストランの運営しながら、マリーナ事業の他、MICE事業・ブライダル・パーティを展開し、テニスコートやフットサルなど地元の方々にも多くご利用いただいています。また、「リビエラ未来創りプロジェクト」の一環で、リビエラ逗子マリーナではサスティナブルな活動を幅広く行っております。

この度、ホテルがリビエラ逗子マリーナにできることにより、マリーナリゾートとしてのコンテンツの枠組みが完成いたしました。

#### 〈概要〉

名称: MALIBU HOTEL (マリブホテル) (公式ホームページ: https://www.riviera.co.jp/malibuhotel/)

住所 : 神奈川県逗子市小坪5-23-16 リビエラ逗子マリーナ内

開業 : 2020年3月26日(木)

客室: 全11室(50㎡~93㎡)/全室ツイン/全室ガーデンテラスまたはバルコニー付(7㎡~51㎡)

金額: ¥90,000~

施設 : レストラン/BAR/テラスラウンジ/スパ/バンケット 交通 : JR鎌倉駅よりバス10分/JR逗子駅よりバス10分

## <レストラン&バー>

リストランテAO 逗子マリーナ 店内:65席 テラス:30席 マリブファーム 逗子マリーナ 店内:55席 テラス:75席

キャプテンズ バー 10席 マリブファーム バー 8席

## ■リビエラグループのSDGs活動について

リビエラグループは、「大自然と共に心豊かに生きる」を企業理念とし、より豊かなライフスタイルをお客様に提案し、新たなる感動を創造し続ける企業です。同時に、私たちが展開する事業は、大自然の恩恵なくしては成り立ちません。だからこそ私たちは世界中の様々な課題を自社の課題として取り組むべき社会的使命があると考えています。2006 年より活動をスタートした「リビエラ未来創りプロジェクト」は、「環境」「教育」「食文化」の3つの軸で全社員が取り組み、SDGs 推進に寄与しております。その一環として、2012 年から「エコロジータウン・リビエラ逗子マリーナ」を掲げて街づくりをしており、「大地・大気・大海」のエコロジーを考える上でCO2削減に繋がる太陽光の利用や、東京海洋大学との共同研究で生まれた急速充電型電池推進船「らいちょうS」の運用の他、マイクロプラスチックを危惧し、プラスチックストローの全廃止や地域の方とのビーチクリーン活動に取り組んでまいりました。また循環型有機農法による自社菜園での栽培をはじめ、青少年への海洋プログラムやペットと共生する街づくりに取り組んでいます。そして、EV車の普及活動を通して、CO2排出削減の意識向上に加え、『マリブホテル』では、災害時にEVからホテルフロントの照明やコンセントに電力が供給できるV2B(Vehicle to building)のシステムを導入した日本初のホテルを開業し、SDGS(持続可能な開発目標)を今後より一層推進してまいります。







ビーチクリーン活動



薄膜太陽光発電パネルを設置



急速充電型電池推進船「らいちょうS」



V2Bシステムを導入した日本初のホテル開業



プラスチックストローの全廃止



循環型有機農法による自社菜園



ペットと共生するイベント

#### ■「リビエラ逗子マリーナ」について

日本有数のマリーナとして1971年に誕生した敷地面積5万坪の『リビエラ逗子マリーナ』は、ヨットハーバー、レストラン(3店舗)、バー(2店舗)、バンケット(5会場)、マンション(9棟1,300室)、チャペル、テニスコート(4面)等の施設を有する、リビエラグループが神奈川県逗子市で展開するマリーナリゾートです。都心から約50分の近距離にあり、湘南の海に囲まれ大海原の向こうに富士山を望む抜群のロケーションを備え、ロケ地としても有名です。全 11 室のスモールラグジュアリーホテル『マリブホテル』と、日本初上陸となるレストラン『マリブファーム』が新たに加わり、滞在型マリーナリゾートへ生まれ変わりました。2006年から「リビエラ未来創りプロジェクト」の一環として、「エコロジータウン・リビエラ逗子マリーナ」を掲げて街づくりに取り組み、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。





### ■リビエラグループついて

リビエラグループは、90年続く米ロサンゼルスの名門ゴルフコース「ザ・リビエラカントリークラブ」をフラッグシップに、国内ではマリーナ事業、リゾート開発、高級プレジャーボートの会員制クラブ、不動産売買・管理、レストラン、MICE、ウェディング事業を手がけ、より豊かなライフスタイルを提案しています。 また事業展開と同時に、歴史的木造帆船「シナーラ」のレストアを手掛けるなど「リビエラ未来創りプロジェクト」を通し、 国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を推進しています。 (公式ホームページ: https://www.riviera.co.jp/)